

9月定例会 一般質問要旨

2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての質疑の様子をご覧いただけます。



防災対策について



公明党 谷之木 勇作

議員 災害発生時のトイレ対策について本市の取り組みを伺います。

総務部長 断水時の対策として、簡易組み立てトイレ、携帯トイレなどを備蓄しています。また、協定に基づき、民間事業者による仮設トイレ設置などの体制を整えています。

議員 市内の学校や避難所へマンホールトイレの配置や自動ラップ式トイレを導入すべきと考えますが、所見を伺います。

総務部長 必要性を勘案しながら、研究していきたいと考えています。

議員 被災時において、高齢者や障がい者、妊産婦など特に配慮の必要な人のために、民間施設の福祉避難所の設置や協力締結を結ぶべきと考えますが、所見を伺います。

総務部長 担当部局である福祉こども部と連携し、今後検討していきたいと考えています。

議員 被災時の状況を想定し、水源確保のための災害時協力井戸登録

制度や防災井戸の新設、炊き出しができる「かまどベンチ」の設置など、さまざまな備えが必要と考えますが、所見を伺います。

総務部長 有効な手段ではありますが、安全性や効果、費用面など、今後研究していきたいと考えます。



■その他の質問

- ・児童や高齢者などへの虐待防止について
- ・保育士などの保育者への支援について
- ・子どもから若者までの支援について



太田市尾島RCスカイポートのイベントへの活用について



創政クラブ 高野 博善

議員 尾島RCスカイポートの利用実績について伺います。

産業環境部長 地域のラジコンクラブや関係団体が、ラジコン飛行や競技会などで利用しており、令和5年度の利用実績は、157日間でした。

議員 ラジコン飛行機以外での利用が可能か伺います。

産業環境部長 ラジコン以外での利用は認めていません。

議員 尾島RCスカイポートを活用し、自動車の運転技術向上のための講習会を開催することについて、市長の所見を伺います。

市長 利用実績が多く、運転のための環境も整っていないため、難しいと考えます。

議員 利根川の河川敷エリア全体の整備について、今後のビジョンを伺います。

市長 本市には、自動車産業が根付いていますが、次の世代では、ドローンをはじめとする空中を使った物流な

ど、新たな産業が考えられます。河川敷を整備することで、ドローンの活用や、自動車の実技講習にも利用できると思います。上武ゴルフ場の跡地を活用し、その周辺に新たな産業が集積されていけば、将来的に非常に大きな希望が持てるものであり、成長を続ける太田市の象徴になればと考えています。



■その他の質問

- ・運転寿命向上のための取り組みについて
- ・新キャラクター「NEOTA」の活用・運用について



遊休不動産の利活用について



志友会 青木 雅浩

議員 商店リフォーム支援事業補助金および空き店舗対策リフォーム支援事業補助金の課題について伺います。

産業環境部長 補助金の利用は、いずれか1度限りとしていますが、利用者からは再度リフォームをしたいとの声があります。今後は、利用しやすく、より効果的な補助事業にしていく必要があると考えます。



議員 リノベーションまちづくりについて、所見を伺います。

産業環境部長 地域課題の解決に有効な手法であり、今後も関係部署

と連携し、研究していきたいと考えます。

議員 地域活性化や空き店舗対策の推進のために、再度補助金の交付が受けられるよう、利用要件を緩和すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 補助事業による成功事例が多くありますので、一定程度充足してきた際には、第2弾の補助金を検討してもよいと考えています。

議員 地域資源を活用したリノベーションまちづくりの推進に向けて、講演会やセミナーを開催することについて、所見を伺います。

市長 講演会の実施はよいと思いますので、適切な講師がいれば開催したいと思います。リノベーションについては、太田駅北口など地域ぐるみで取り組んでいる事例があり、本当に素晴らしい活動だと思いますので、積極的に応援していきたいと考えます。



インクルーシブ防災について



立憲民主党 岩瀬 僚

議員 高齢者や障がい者など要配慮者にとっての防災上の課題と、本市の取り組みについて伺います。

総務部長 災害時に自ら避難することが困難な人については、迅速かつ円滑に避難できるよう支援することが重要と考えます。そのため、避難行動要支援者名簿に記載された人が、災害発生時にどのような行動を取るべきか、個々の実情に即した個別避難計画の作成を進めています。

議員 本市における個別避難計画の作成状況について伺います。

福祉こども部長 令和5年度から作成を開始し、水害リスクの高い地域から優先的に進めています。

議員 今後のインクルーシブ防災の展開について、市長の所見を伺います。

市長 令和元年東日本台風の際には、市民一人一人がインクルーシブの考え方で助け合っており、素晴らしい姿が見られました。過日の台風10

号の対応にあたっては、危機管理室において、区長をはじめ関係機関と連携する体制を整えており、非常に高く評価しています。地震については経験がなく、はっきりしたことは言えませんが、市民全体としては、弱者に対して手を差し伸べようという気持ちで、災害対応ができるのではないかと考えます。



■その他の質問

- ・インターネット上の人権侵害と差別されない権利について
- ・手話コミュニケーションのできる職員の育成について